



伊佐市彼岸花のパノラマ



出水平野に現れた希少種  
1羽のソテグロツル

鹿児島は面白い  
 鹿児島は楽しい  
 鹿児島は美味しい  
 鹿児島は温かい  
 そして  
 鹿児島は不思議の国

# ひつしづ

## 第9号

発行者  
 NPO法人  
 かごしま新発見伝塾  
 〒890-0023  
 鹿児島市永吉 3-19-17  
 ザ・ビューヒルズ 208  
 Tel 099-800-1521  
 Mail [info@kagoshima-shinhakken.net](mailto:info@kagoshima-shinhakken.net)  
<http://www.kagoshima-shinhakken.net>

二〇二一年もあとわずかとなりました。皆様方にはご健勝のことと拝察いたします。

コロナもデルタ株という強烈なパンチが日本中を席巻しましたが、秋には収まって行くような気配でした。そんな中でNPOの活動では「大木先生と行く種子島古代ロマンの旅」を思い切ってやること決心して二度目の種子島ツアーを催行しました。種子島は歴史も奥深いのですが、地形や地質が素晴らしく訪れる人を魅了します。難しい地学(懐かしい)の話も大木先生の笑顔と解り易い語り、太古と今の繋がりを感ずることが出来ました。種子島といえば松寿院。松寿院の研究を続けていらつしやる島津登志子さんに熱く語って頂きました。自分の一生を人の為に尽くし、真摯に生きて尊崇すべき女性であると感じました。

この一泊二日で教えられたこと。それは人は年を重ねても学ぶ意欲は衰えず、益々深まって行くのだということ。そして私共の役割は学びたい方々のお手伝いをする(だと改めて知らされました。オミクロン株という新たな懸念も広がりますが、ご自愛いただき、よいお年をお迎え下さいませ。

NPO 法人かごしま新発見伝塾  
 理事長 今井俊子



沿道から奥深く、水田の中に凛と立つ松寿院の三太事績の碑

御拝塔墓地で大木先生の熱弁



キムタク伝説の金浜海岸



ここは何処の浜でしょうか？

編集雑記  
 コロナ禍の中、なかなか活動の実績がないのですが、その中でツアーは十一月の種子島の一本だけ。街歩き少し、講座は毎月欠かさず実施しました。皆様熱心なご協力で会報も出せました。感謝です。いつもの通り、見難いのはご辛抱頂いて、読破して頂ければ嬉しいです。今後とも紙面の工夫を心がけます。

編集責任者 今井征男

紀行文

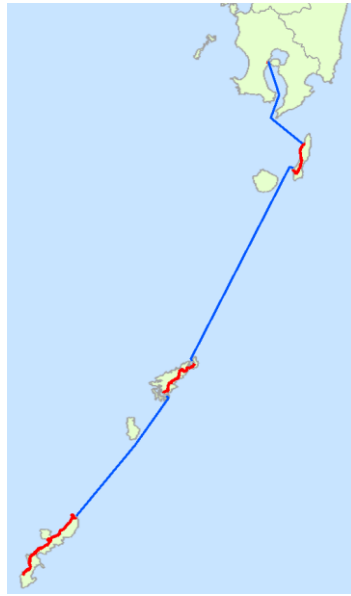
〜大木公彦先生と行く

種子島古代ロマンの旅〜 今井俊子

(1) 海上の道

十一月九日午前七時三十分高速船ロケットは定刻に西之表港に向けて飛んだ。二日間には往復の旅の始まりである。

九時十五分西之表港を出発し、国道五八号線に沿って青い海原に出た。国道五八号線は鹿児島市の西郷銅像から朝日通りを下り、種子屋久航路の港から船が海の道となり、西之表港で上陸、それから陸路で島間港まで走ると、海の道となり、奄美本島を縦断し再び海の道となり、沖縄県国頭村に上陸、縦断して那覇市明治橋まで全長八七九kmの全国一長い国道である。



(2) 形之山遺跡

マイクを通して大木先生の軽妙な語りが皆様を笑顔にし、生き生きとさせる。西之表市住吉小学校の手前にマンモスを描いた大きな看板があるが、(国道沿いですが)つい見落としてしまいがちです。形之山遺跡と書いてある。ここではゾウシカ・魚トビ・カニ・一枚貝カエルなどに加え、植物や

大型の獣骨化石が発見され、淡水魚の化石から住吉あたりは浅い海で人が歩いて渡ったり、マンモスなどの化石からは大陸と陸続きの可能性があり、トカラ海峡が形成された時代を探る手がかりとなる大変貴重な化石群である。古代の人々は一体何処からどのようにやって来たのだろうか。

暖かで食べ物も豊富な種子島に住みついた人々は独特の文化を形成するが、八世紀の頃には大和朝廷に支配され「多羅国」と称され、朝貢が行われていることが「日本書紀」に記されている。

(3) 大牟礼竹之川層(中種子町野間)

野間小学校から海岸に向かってバスで一〇分程度走った敷の先に鉄分を含んだ黒い帯状の地層が現れる。竹之川層である。この地層はいつのようにして形成されたかは謎であり、七千万年前の鬼界カルデラの大噴火にともなつて種子島に鉄分が漂着して出来たとも考えられる。と大木先生のお話であった。



実はこの竹之川層は地元の方も余りご存じないようで、下見の時、中種子町歴史民俗資料館の稲垣学芸員が「ここではないでしょうか」と案内して頂きましたが、バスの東田運転手も事前下見をして頂いて「いへん、べつ」の回答でした。

と発見して頂いたような、隠れた宝物である。結局本番の時先生が同場所を「ここです」と特定して頂き、ホットしたものでした。

(4) 南種子町の河内化石

南種子町にある河内温泉近くの山中でカキの化石層が発見された。一六〇〇万年前の生きた貝がそのままの形で化石となり、地表に現れているのだ。親カキの上の子カキ、その上に孫カキが重なって出来た珍しいカキ化石層となり、不思議な光景を作り出している。又、美しい砂岩の葦永層群は種子島の東海岸に広がり、風や波、潮の流れが作り出す岩の風景は種子島一の絶景を生んだ。辺りの山々は一面の亜熱帯樹木に覆われ、手つかずの大自然が壮観さを感じさせる必見の場所である。種子島に宇宙センターが建設されることになり、ロケットを運ぶ道路を作る為に山を崩したところカキ化石層が発見されたという、正に奇跡が産んだ化石である。



河内化石公園にて

いわさきホテル海岸の葦永層

(5) ドラメルタン島とインギー鶏

明治十七年のこと、前之浜海岸に大きな船が座礁しているのが見えた。若者たちが泳いで近づいてみると外国船で、多くの異国人が乗っていること

がわかった。急いで救助して訳を尋ねると「ワタシ  
タチハイギリスジンドラス シャンハイカラフジント  
ンムカウトチュウ アラシリアイマシタ センブレ  
二九メイデス」といっ。そこで船の修理が終わるま  
でそれぞれの家でもてなそうと決めた。

イギリス人なので「インギーさん」と呼ぶようにな  
った。「インギーさん箸の使い方が上手くなったね」  
「アリガトウ」ザイマス。ミンシルモトテモオイヤ  
デス」「一ヶ月余りで船の修理が終わると「トトサマ  
カカサマ モウスグオワカレデス コレハホンノオレ  
イデス」といって十一羽の鶏をプレゼントした。集落  
の人達は「この鶏を「インギー鶏」と名付けて皆で大  
切に「それ」他の鶏と混ぜん  
らないように」今日まで育っ  
て来た。現在は大木先生を  
はじめとする県文化財審議  
委員会により「鹿児島県天  
然記念物」に指定されてい  
る。花峰小学校ではインギ  
ー鶏を飼育しており、児童  
が休日も一人ずつ交代で世  
話をし、命の大切さを学んでいる。

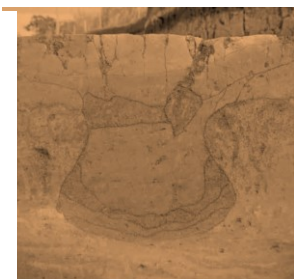


(6) 旧石器時代からの遺跡の宝庫

黒潮の流れ込む種子島は旧石器時代から人々が住  
みつき、殆んど全島で遺跡が発見されている。海岸  
近くに限らず内陸部にも見られるところから、高い  
山がなく比較的暑くし易い土地だったと考えられ  
る。その中から幾つか紹介すると、中種子町坂井か  
ら発見された「大津保畑遺跡」は日本一古い三万年  
前、旧石器時代の狩猟用の落とし穴と言われ、イン

シ・シカの骨が発見されたが、今はインシシは発見  
されていないところだ。

種子島空港を建設する際発掘されたのが縄文時代  
草創期のものとされる「三角山遺跡」である。全国で  
も珍しい竪穴式住居跡で、完全な形の土器が多数埋  
没していた。同じ時期西之表市立山の「奥ノ仁田遺  
跡」は標高二二三五の高原にあり、隆帯文と呼ばれ  
る土器を使用し定住していたと考えられる場所だ。  
それをきっかけに遺跡が次々と発見されること  
になった。



大津保畑の落とし穴



三角山遺跡

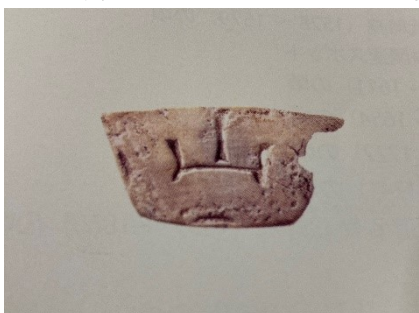


奥ノ仁田遺跡の出土品

(7) 広田遺跡

一九五七年から一九五八年にかけて発掘調査され  
た際に、「一二二体の人骨が発見された。四万四千点  
もの南方系の貝を細工した貝製品を身に付けた広  
田人骨は埋葬の方法が中国の影響を受けており、大  
陸とならぶの関係があったことを伝えている。

又、海岸沿いには墓地群が作られ、その後南種子町  
教育委員会による発掘  
調査も行われ、大規模  
集落が形成されていた  
ことが確認された。貝  
符に刻まれた「山」とい  
う文字は日本最古の文  
字と言われる。



弥生時代後期から古墳  
時代にかけての定住集  
落として貴重な遺跡と  
され、二〇〇八年(平成二〇年)三月二八日種子島  
で初めての国の史跡に指定された。  
種子島は考古学ファンにはたまらないロマンと魅力  
にあふれた島なのである。

参考文献 鮫嶋安豊著 種子島の歴史

他

ロマン研修中!!

鶴の渡来地出水の干拓地がラムサール条約に  
登録されたのを機に、当会理事長はラムサー  
ル認定ガイドを目指して、奮励研修中です。  
ヨクヤルエナ、... otottoのひなやなぎ

2022年度の事業カレンダー						
カテゴリー	回	月	日	曜	カテゴリー	テーマ
歴史よもやま話 10:00～11:40 会場 市福祉プラザ 4F 小会議室 資料代 200 円 要予約 27 名限定						
	1	4	21	木	歴史よもやま話	薩摩焼と 14 代沈壽官
	2	5	19	木	歴史よもやま話	鎌倉時代の越前島津氏
	3	6	30	木	歴史よもやま話	歴史とロマンの種子島
	4	7	28	木	歴史よもやま話	SDGsと教育旅行
	5	8	25	木	歴史よもやま話	白梅のように～～リケジヨ先駆者丹下梅子～～
	6	9	29	木	歴史よもやま話	東郷平八郎の生き方
	7	10	27	木	歴史よもやま話	江戸城大奥という世界
	8	11	24	木	歴史よもやま話	桜島の歴史とこれからの展望
	9	12	8	木	歴史よもやま話	鶴の来る町・出水干拓地の歴史
	10	1	19	木	歴史よもやま話	税所敦子～～島津登志子さん講座～～
	11	2	16	木	歴史よもやま話	乃木希典の妻・静子
	12	3	23	木	歴史よもやま話	大山巖
街歩き 10:00～12:30 会費 1,000 円(資料代、保険代含む) 2 日前までに要予約 15 名限定						
	前	3	17	木	第 66 回街歩き	磯地区界限新しい発見も
	前	3	19	土	第 66 回街歩き	磯地区界限新しい発見も
	1	4	14	木	第 67 回街歩き	多賀山・東福寺城と東郷平八郎
	1	4	16	土	第 67 回街歩き	多賀山・東福寺城と東郷平八郎
	2	5	12	木	第 68 回街歩き	アイランドビューで鳥島と SABO へ Go!
	2	5	14	土	第 68 回街歩き	アイランドビューで鳥島と SABO へ Go!
	3	9	15	木	第 69 回街歩き	西郷さんを偲んで城山洞窟・終焉地・銅像を歩く
	3	9	17	土	第 69 回街歩き	西郷さんを偲んで城山洞窟・終焉地・銅像を歩く
	4	10	20	木	第 70 回街歩き	涙で迎える水上坂・斉彬のお国入り
	4	10	22	土	第 70 回街歩き	涙で迎える水上坂・斉彬のお国入り
	5	11	17	木	第 71 回街歩き	小松帯刀別邸から旧石井手用水路をハートピアまで
	5	11	19	土	第 71 回街歩き	小松帯刀別邸から旧石井手用水路をハートピアまで
	6	12	3	土	第 72 回街歩き	島津啓次郎・増田宗太郎 西南戦争に散る
	7	3	16	木	第 73 回街歩き	福昌寺墓地巡り・島津家700年の眠り
	7	3	18	土	第 73 回街歩き	福昌寺墓地巡り・島津家700年の眠り
バスツアー 只今計画中 乞うご期待!						
	1	4	28	木	古事記シリーズ①	可愛山陵など
	2	6	23	木	古事記シリーズ②	高屋山陵・霧島神宮
	3	10	16	日	古事記シリーズ③	吾平山陵と高山鎬流馬祭り
	4	11	10	木	日置新発見の旅	松元町茶畑・美山
	5	1	26	木	島津斉彬の夢	鶴の来る町出水と島津斉彬の夢 干拓地・麓二階堂家
	6	3	30	木	古事記シリーズ④	南さつま市・笠沙

12/20(月)現在の予定表です。変更になる場合がありますのでご了承ください。

※ 1面の写真「ここは何処の浜でしょう?」は錦江湾に浮かぶ灯台の「<sup>かんぽ</sup>神瀬」です。